

新規就農フェア・移住相談会に妹背牛町が初参加！



札幌市内で開催された「新規就農フェア」

妹背牛町は7月5日、都市部で開催された「新規就農フェア」と「移住相談会」にそれぞれ初めて参加し、妹背牛での就農や移住に関心のある人たちに町の魅力をPRしました。

札幌市で開催された「北海道新規就農フェア」には、5、6日の2日間で道内66の自治体が参加。5日にブースを構えた妹背牛町は、町農政課の職員や地元のプロデューサーが花き栽培での独立に向けたサポート体制を紹介しました。



東京都内で開催された「移住相談会」

一方、東京都内で開催された「北海道移住相談会」には、道内の自治体と企業の計60団体が参加。妹背牛町のブースでは、町企画振興課の職員が移住希望者の相談に応じたほか、ノベルティとして妹背牛産米300gをプレゼントしました。

妹背牛町のブースに訪れた17組は、関東圏に住む40〜60代が大半で、交通アクセスや仕事内容について質問が集中。担当職員は「二拠点居住を望む人が多く、今回の相談会では、町内の各事業所から集めた季節ごとの仕事情報もアピール材料にしていきたいです」と、意気込みを語りました。

巻き爪をケアするネイリスト

荒井さんがネイルサロン開店

今年6月、妹背牛町1区11町内にフットケアをメインとしたネイルサロン「muu.Nail」をオープンした荒井睦希さんは、自身も足の爪のトラブルを抱えながら生活していました。子どものころから両足の親指が巻き爪で、特に部活動の 때가辛かったといいます。「い

つか足のトラブルを解決できる人になろう」という思いは大人になるにつれ、強くなりました。

深川市出身。妹背牛町には2022年に移住しました。足の巻き爪をケアする施術に必要な資格を取り、今年3月からモニターを募集。施術を受けた40代女性は「一生、巻き爪だと思っていたけれど、痛みを感じずに歩けるようになった」と、感想を述べました。

農作業やゴルフの時にしっかりと足を踏め込めなかったり、自分で足の爪が切れなかったりと、巻き爪の悩みは人によつてさまざま。荒井さんは「足は健康的な生活を送るための土台。元気に歩ける人が増えるよう、この地からお手伝いがしたいです」と、話します。

爪に彩りを与える一方、自身の経験からフットケアもできるネイリストは、来店客の「歩く」を支えます。

「一人で悩まないで、見せたくない足ほど見せてください」

「わたしのもせうし時間」は、妹背牛町で暮らす人たちにスポットを当てた不定期企画です！

わたしの
もせうし
時間



来店客のフットケアを行う荒井さん